

## 水稲V溝乾田直播栽培の生育状況（6月4日現在）

### ■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種  
キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月28日
- ⑥ 播種量 乾粃 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度 (LP100)



播種作業の様子

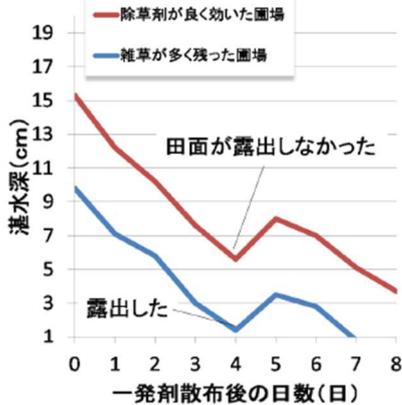
### ■ 生育状況



6月4日現在のイネの草丈は水深が浅い地点（5cm程度）で13.9cm、水深が深い地点（10cm程度）で21.0cm、平均葉齢はそれぞれ3.1葉でした。

また、同日に一発除草剤（アツパレZジャンボ）の散布を行っています。

## ■ 栽培管理のポイント



- 一発除草剤の散布直前には、事前に把握した日減水深を勘案して、湛水状態を5日間保てる水深を確保します。
- 一発除草剤の散布後7日間は落水や掛け流しを行わないようにします。

### 水深の確保が明暗を分ける

一発除草剤は、水に解けて拡散し、雑草を枯殺・抑制します。早い時期に水が無くなると、その効果が十分に発揮されなくなります。

### 一発除草剤散布時の水深

(水稲V溝乾田直播栽培マニュアル)



### 稲は深水で葉を伸ばす

水稲は深水に強い植物。葉を伸ばして生育します。



### ヒエは深水で死んでしまう

一方、ノビエは深水に弱い植物。除草剤のダメージと5~6cmの水深の相乗効果で、枯死します。(写真は観察用の目印とその後枯死するノビエ。)

- 一発除草剤の散布後7日以降は水深を5~6cmにします。
- 慣行栽培では浅水管理で分けつを促しますが、この栽培では浅水管理の分けつ促進効果はそれほど期待できません。その分、播種量を多くして茎数を確保しています。
- この時期の浅水管理は、雑草再発生のリスクを伴います。極端な深水管理は分けつを抑制します。したがって、少し深めの5~6cmの水深で管理します。

### 一発除草剤散布後の水管理

(水稲V溝乾田直播栽培マニュアル)

農薬を使用するときは、必ず最新の農薬登録情報を入手して、直播栽培に登録があることを確認してください。